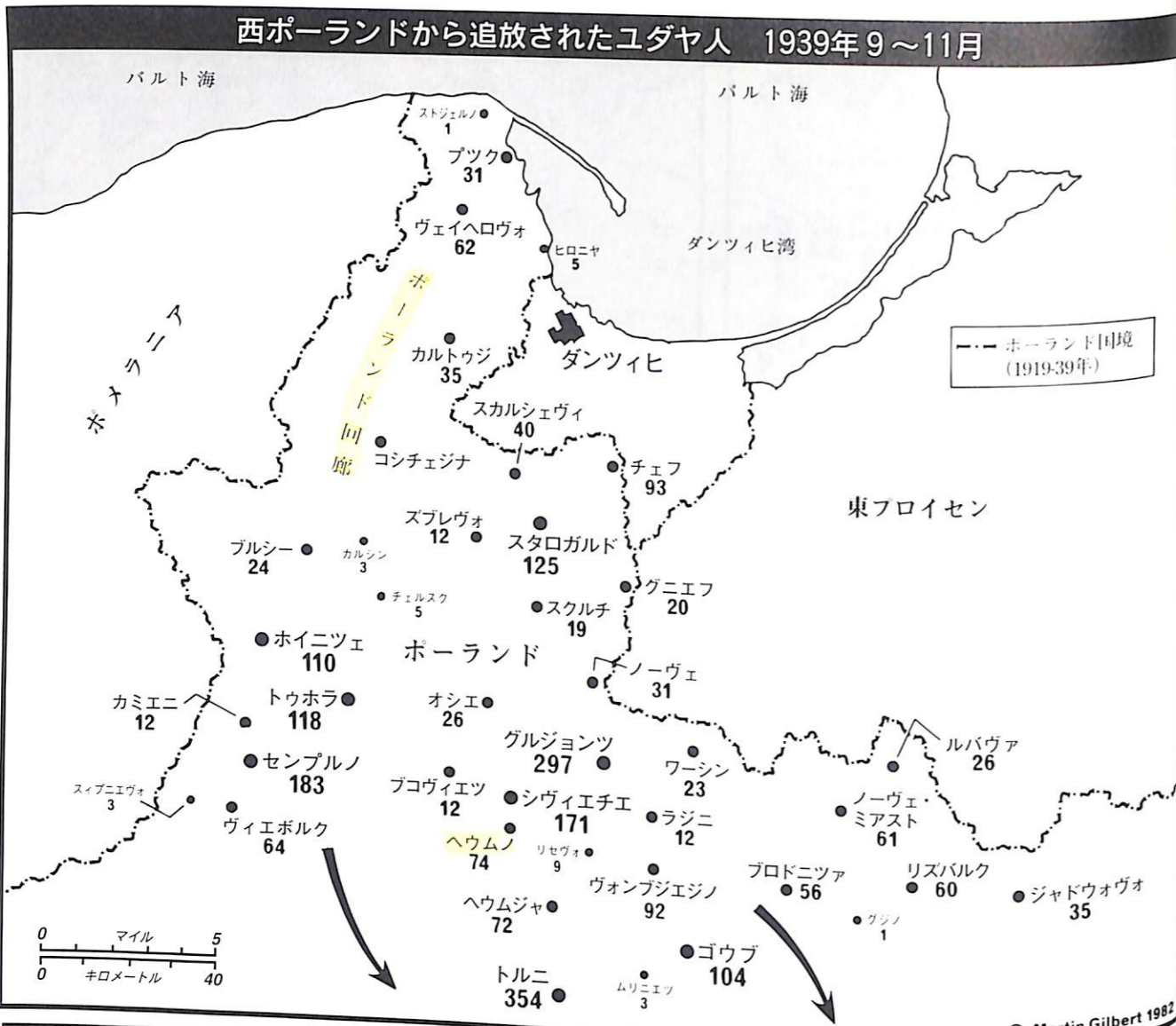


西ポーランドから追放されたユダヤ人 1939年9~11月



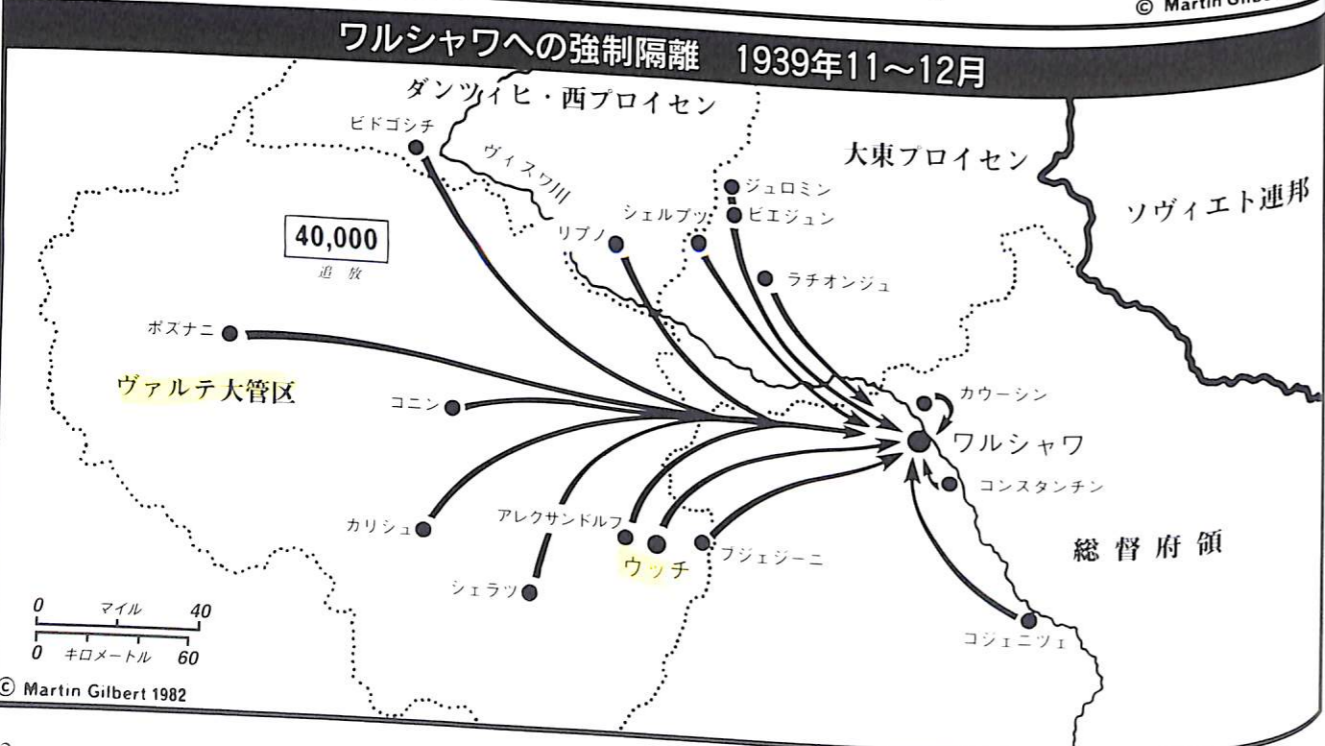
ユダヤ人を東方へ追放する作業が進むにつれ、彼等は想像を絶する悲惨な状態に追い込まれていった。定住地を追われる苦しみもさることながら、隔離の生活はみじめだった。ドイツは慎重に計画を練り、冷酷に実行していった。ヒトラーが、1939年10月6日の議会演説で明言したように、「ユダヤ問題の統制と管理」には、厳しい手段が必要とされた。1940年1月末までに、ポーランドのユダヤ人約7万8000人が、居住地を追いだされた。地図42は、新しいドイツの行政単位を示す。大ダンツィヒ・西プロイセン、大東プロイセン、ヴァルテ大管区の三つであるが、ユダヤ人は、ドイツのポーランド占領初期にその地域から追放された。地図43の数字は、1931年の人口調査時のユダヤ人口と、ホズナニとその周辺村落から追放されると西の集合地へ集められ、ついで東の総督府領へ送られて、いくつかの隔離地に収容された。新しい大ダンツィヒ在住のポーランド系ユダヤ人も、隔離地へ追いだされた(地図40)。

追放されたユダヤ人を収容した隔離地のなかで、一番大きいのがワルシャワであった(地図41)。そこには、35万人を超えるユダヤ人が以前から住んでいた。

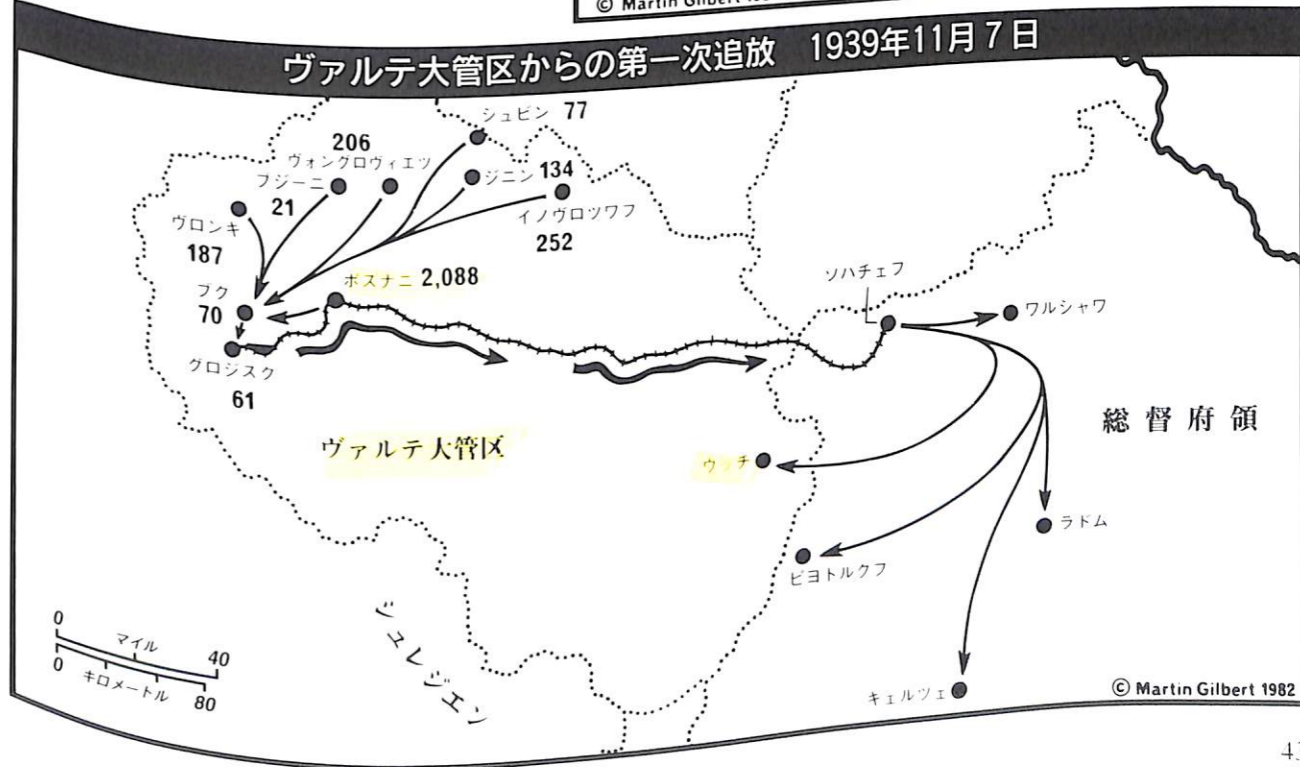
移送対象地



ワルシャワへの強制隔離 1939年11~12月



ヴァルテ大管区からの第一次追放 1939年11月7日



ホロコースト歴史地図

1918-1948

マーチン・ギルバート 滝川義人[訳]



ATLAS OF THE HOLOCAUST

